



ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社

ヘブンスそのはら

索道安全報告書(2011年)

夏山シーズン

園原1 2人乗りゴンドラリフト
富士見台第2リフト
富士見台第4リフト

スキーシーズン

園原1 2人乗りゴンドラリフト
富士見台第2リフト
富士見台第3リフト
富士見台第4リフト
富士見台第6リフト
富士見台第7リフト

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社、ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社は、「安全輸送の確保」を企業行動指針の第一として掲げ、行動方針に従い全ての従業員はみなさまに安心してマウンテン・レジャーを楽しんでいただけるよう法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解頂くために公表するものです。

ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社
代表取締役 白澤裕次

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社は、経営理念の第一を安全確保とし、「安全基本方針」を次のように掲げ、事業に携わる全員に周知徹底を図っております。

- 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解すると共に、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いに努めること。
- 事故、災害等が発生した場合は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- 情報は漏れのないよう迅速、正確に伝えること。
- 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

当社の安全目標は、「索道に関する人身障害事故件数及び、設備不具合による運休日数ゼロ」を目標とします。

代表取締役以下従業員が、目標達成に向けて取り組む所存であります。

3. 事故の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成22年度索道運転事故の発生はありませんでした。

(2) 災害

平成22年度災害による運行に支障が発生することはありませんでした。

(3) インシデント(事故の兆候)

平成22年度インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

平成22年度行政指導等はありませんでした。

4. 安全輸送のための取組み

(1) 人材育成

① 各種索道研修会の参加

北陸信越索道協会主催 平成22年度索道技術研修会 (3日間) 2名

中部電力保安協会主催 電気保安講習会	(3時間)	1名
日本ケーブル株式会社主催 NCテクニカルセミナー	(4日間)	1名
ジェイ・マウンテンズ・グループ株式会社主催		
第2回 JMG 索道安全技術委員会 (群馬県)	(2日間)	2名
非破壊検査協会主催 超音波探傷 UT レベル 1 講習会(愛知県)	(5日間)	1名
北陸信越索道協会長野地区部会主催		
平成22年度索道技術研修会	(1日間)	3名
北陸信越運輸局主催 索道技術管理者研修会	(2日間)	2名
長野県安全運転管理者協会主催 安全運転管理者講習会		
ジェイ・マウンテンズ・グループ株式会社主催	(1日間)	1名
第3回 JMG 索道安全技術委員会(岐阜県)	(1日間)	2名
北陸信越索道協会長野地区部会主催 索道事故防止研修会	(1日間)	2名

② 社内研修会の実施

9月16日(木)飯田広域消防伊賀良消防署講師 普通救命講習会(3時間)	9名
12月12日(日)オリエンテーション	(2時間)新規スタッフ対象
12月12日(日)平成22年度索道研修会	(2時間)索道スタッフ対象
12月12日(日)長野県安全運転管理者協会 運転適正検査	(1時間) 45名
12月15日(木)索道技術管理員会議	(2時間) 16名

(2) 緊急時対応訓練

当社は、夏期シーズンと冬期スキーシーズンの営業前の2回、社内全スタッフが参加し、緊急時を想定した、索道の救助訓練を実施しております。平成22年度は更に秋期シーズン前に社内でのみの救助訓練を実施しております。

夏期救助訓練は、6月29日(金)午前中に阿智村消防団第6分団の皆様10名と索道課5名が、ゴンドラ線下の避難経路確認として、徒歩にて全線を移動しました。午後より飯田広域消防との合同ゴンドラ救助訓練及び、近隣スキー場との相互救助応援体制の構築として、白樺高原国際、富士見パノラマリゾート、御岳ロープウェイ、おんたけ 2240、ジェイ・マウンテンズ・グループ(株)グループスキー場から、ダイナランド、高鷲スノーパーク、箱館山スキー場(現在(株)マックアースリゾート)、更に索道メーカーより日本ケーブル(株)、檜山スノーテック(株)よりご参集頂き、総勢98名の救助訓練となりました。この訓練の様子は、テレビ局、新聞社のマスコミ6社の取材報道がありました。

秋期救助訓練は、9月3日(金)の終日、社内スタッフ28名及びあららぎスキー場の皆さんにご参加頂き、ゴンドラ救助訓練を繰返し訓練しました。

冬期救助訓練は、12月12日(日)飯田広域消防署と合同救助訓練として、特殊索道(リフト)と普通索道(ゴンドラ)の救助訓練を実施しました。この訓練の様子は、地元新聞社の取材報道がありました。

この他、近隣スキー場普通索道救助応援体制構築のため、4月21日に富士見パノラマ救助訓練、7月13日に御岳ロープウェイの救助訓練、12月2日おんたけ2240の救助訓練に参加しております。

① 6月29日夏期救助訓練

避難路確認



当社救助班



飯田広域消防署・レスキュー隊救助班



(第3種郵便物認可)

ロープウェイ故障想定

阿智の富士見台高原 飯田広域消防など訓練

夏の営業開始を前に訓練があり、飯田広域に、阿智村智里の富士見台高原ロープウェイ関係者ら約百人が参加した。

二十九日、ロープウェイ故障を想定した救助訓練を実施した。故障は、強風など自然現象で支柱のロープ

ーからゴンドラを送るワイヤがはずれ、ゴンドラが停止して中に乗客が取り残されたという想定で行われた。

あらかじめ、支柱と支柱の間に止められたゴンドラに、消防署員や同ロープウェイの職員らがワイヤをつたうなどして近づき、救助具に乗客をつり下げて地上に降ろした。救助現場には「大丈夫ですか。すぐに救助します」などのかけ声が飛び交った。

家族の職場見学で訪れ、長男の阿智中学校一年佐々木泰治君(こ)と救助される役を務めた母親ひとみさんは「最初は怖かったが、てきぱきとした対応で

救助訓練に参加する人たち。阿智村智里の富士見台高原ロープウェイヘブンスそのほらで



安心してました」とほいた。七月二日から、営業を開始する。
つとした様子で話して 同ロープウェイは夏の
(吉田幸雄)

(4) 安全のための投資と支出

安全の維持、向上のため、下記のとおり修繕維持を実施いたしました。

園原12人乗りゴンドラリフト

10号支柱索受交換
原動滑車緊張滑車軸組み整備

富士見台第2リフト

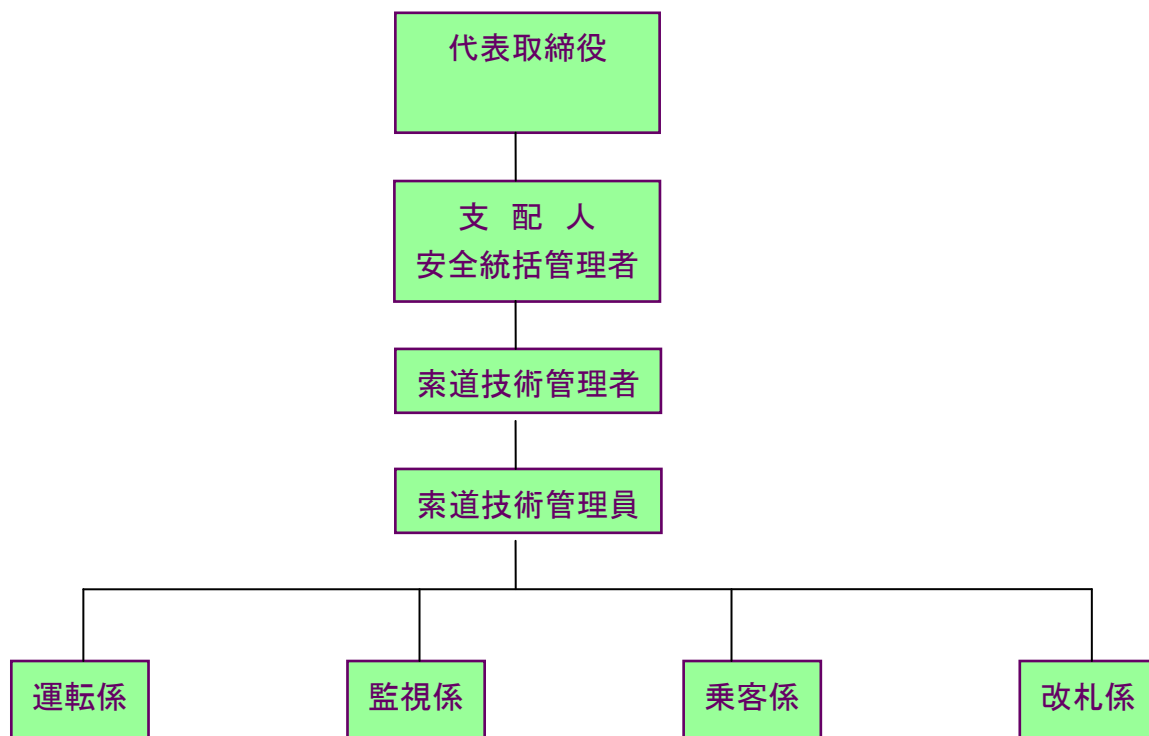
減速機分解整備
原動緊張滑車軸組み交換

富士見台第4リフト

減速機・原動機分解整備

5. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また、各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリ・ハットや反省、気付き、改善提案等を索道技術管理者へ報告し、併せて毎週1回の安全統括管理者含むミーティングを実施し、日々の業務に反映させております。



職種と役割

- | | |
|---------|--|
| 代表取締役 | 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。 |
| 安全統括管理者 | 索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。 |
| 索道技術管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括する。 |
| 索道技術管理員 | 索道技術管理者の業務を補助する。 |

6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) ご意見ご感想をお寄せ下さい

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され、安全なサービスが提供できるように役立てます。

(2) 園原12人乗りゴンドラリフト及び各リフトご乗車時の注意事項

お客様の行動は、ゴンドラ及びリフトご利用のお客様全員の安全に関わっています。各々のご利用の際には、責任と義務が伴います。次のことを守ってください。

園原12人乗りゴンドラリフト

<乗車時>

- ① ゴンドラの乗降に不安のあるお客様は、係員まで申し出て下さい。
- ② 最大乗車人員は12名となります。繁忙時は相乗りにご協力下さい。
- ③ 危険物の持ち込みは禁止させていただきます。
- ④ ペットは、ゲージに入れて下さい。尚、ゲージレンタル及びペット乗車料金は有料となります。
- ⑤ 客車と乗場ホームの間に、隙間ができます。足や手荷物等を挟まないようご注意ください。
- ⑥ 扉は自動で開閉しますが、足や身の回り品等を挟まないようご注意ください。
- ⑦ 乗車中は禁煙となります。所定の場所で喫煙下さい。
- ⑧ 飲酒酩酊等、公の秩序又は善良な風俗に反する行為により、他のお客様にご迷惑をおかけすると判断した場合は、乗車をお断りすることがあります。

<乗車中>

- ① 客車を揺らさないで下さい。
- ② 緊急停止の際は、無線機のスイッチを入れ、お静かにお待ち下さい。
- ③ 出発時及び到着時には、客車が揺れます。転倒等にご注意下さい。

<降車時>

- ① 扉が開くまで、そのままお待ち下さい。
- ② 順番に降車下さい。降車に不安のあるお客様は、係員に申し出て下さい。

<その他>

係員の指示に従って下さい。

各リフト

<乗車時>

- ① リフト乗降に不安があるお客様は、係員まで申し出て下さい。
- ② 「すわるいち」でスキーを前に向け、同乗者と並んでお待ち下さい。
- ③ 乗れなかったら、直ぐにリフトから離れて下さい。
- ④ ストック等が同乗のお客様に迷惑にならないようご注意下さい。
- ⑤ リュック、荷物、衣類等のひもにご注意下さい。

<乗車中>

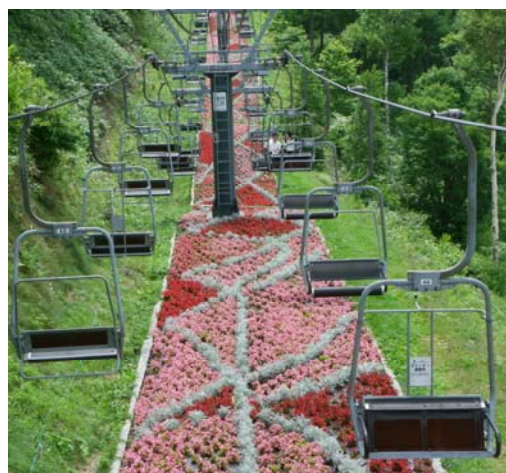
- ① セーフティバーを下ろし、深く腰掛けて下さい。
- ② イスから飛び降りたり、イスを揺らさないで下さい。
- ③ ストック等で柱や雪面等にさわらないで下さい。
- ④ リフトが停止しても、飛び降りないで下さい。
- ⑤ リフト乗車中は禁煙となります。所定の場所で喫煙下さい。
- ⑥ リフト乗車中は、身の回り品や物品の落下にご注意下さい。

<降車時>

- ① 「降り場」が近づいたら降りる準備をし、降りた後は真直ぐ進み、次のお客様の迷惑にならないようにご注意下さい。
- ② 降りられなかったら、そのままイスに座ってお待ち下さい。

<その他>

係員の指示に従って下さい。



7. ご連絡先

安全報告書 へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里 3731-4

ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社

ヘブンスそのはら

TEL(0265)44-2311 FAX(0265)44-2331

E-mail info@mt-heavens.com

